

風が吹けば・・・プロジェクト



○ 農村地域の現状

都市を周辺の街や農村地域が支えているように、地方でも中心市街地と周辺農村地域などがそれぞれの役割や機能を分担しながら“支え合った生活”をしています。私たちが暮らす中山間地域の豪雪地域も、規模は小さくとも中心地域での経済・文化活動、また周辺地域での農耕や里山地域の維持管理、また災害防止なども含め生活に潤いを与える豊かな景観と地域社会を作ってきました。

しかし今、農村地域は急速に高齢化が進み、農林業における担い手など後継者は急速に減少し、未来を担う子供たちの明るい声も身近に聴くことが少なくなりました。そうした状況から、身近な生活基盤である道水路の維持管理、冬の生活道路の確保など、現状維持さえも年々難しくなる現状にあります。高齢者だけの世帯も多くなって、人口減少から更に戸数の減少へとつながり、やがて地域の活力を少しずつ失っていくような状況が・・・見え始めたのではないのでしょうか。

魚沼の中山間地域、とりわけ農村集落の高齢化と少子化は急激に進み、豪雪地の小さな農村集落では高齢化率も年々高まり、私たちの身近に“限界集落化”が近づいてきました。



新幹線駅から僅か5分程度、五箇地域の里山風景



五箇地域から見える最も美しい 越後三山

○ まだ間に合うか・・・『風が吹けば・・・プロジェクト』を始めます！

その名の通り“風が吹けば桶屋が儲かる”的なプランですが、実は“まわり道”に見えても“地域に合った着実に最も現実的な方法”であると考えます。地域が結束し「生活空間丸ごと観光地・農村ミュージアム化」し、フットパスコースを整備・維持することで、「小さな観光」を目指します。地域の一人ひとりの参加から、意識的活性化を促しながらやがて自発的な活動へとつなげ・・・、最終目標とする“活力ある・持続性に富んだ地域”結び付けたら・・・そんな夢だらけのプロジェクトです。

小さな観光を進めることで庭先での交流や農産品販売を進め、やがて・・・農村地域の魅力発信と“顔の見える直接交流”から、「地域に合った移住・定住者」を見つけ出して・・・。地域の魅力を最大限に引き上げながら、ただ“居住する”だけではなく「農村に共に暮らし、地域に生きる人々」を呼び込み、共に育とうとするプロジェクトです。

（このプロジェクトは地域のコミュニティ活動であり自発的活動に支えられた活動です）

○ フットパスの対象地域

中心となる地域は新潟県南魚沼市、「新幹線浦佐駅のある浦佐西山地域」と「純農村的3集落の五箇地域」とし、往時の面影を残す「旧三国街道と河岸段丘」を中心に「街道コース」「農村コース」「里山・段丘コース」など幾つかのフットパスコースを作り（設定・整備）ます。

農村ミュージアムは五箇地域とし、小さな“農村地域を丸ごとミュージアム化・公園化”を進めることで旅行者を招き入れる。そして、農村ミュージアムを深化・推進するエネルギー源はそうした交流から生まれ、日常的に“旅行者・観光者”から貰うことで持続的に進められると考えます。

○ 農村ミュージアムとは・・・

「人々が暮らす雪国魚沼の小さな農村」を歩くことで“ゆっくり農村に浸る”ことができる地域で、フットパスコースが整備される地域です。（詳細別紙資料参照 / 浦佐地域づくり協議会で検索）

○ プロジェクトの概要は・・・

第1段階 大きな資本投入は難しいなか、地域の地理的・地勢的優位性を利用しながら、「小さな観光」を目指します。フットパス手法の導入を図りながら、域内へ少人数の旅行者・観光者を招き入れる仕組みを作る。



舞台は新幹線駅から僅か3キロ程度の地域

第2段階 地域の協力を得ながら、農地や里山などの景観形成に努め、集落内の耕作地・生活区域へ旅行者を招き入れる。そして農林産物交流などを通し旅行者との直接交流を促し、農林製品の販売や“農村での休息を商品化”できるフィールドを作ります。前記したように活性化のエネルギーはそうした交流の中から必ず生まれます。⇨ 地域住民の活動参加

第3段階 小さな農村で生産からの6次化を進め、継続的な交流を深化させ更に進めます。

第4段階 交流の中から、「集落の担い手である移住者・定住者」の受け入れを進めます。
例えば・・・

- ・ 優良住宅地を安価でご用意します！（紹介） 定住人口の増加へ
- ・ 農地の提供の可能です（営農指導、商品作物生産も希望があればOK!）
- ・ 住環境もママア・・・、自然環境は厳しいけれど、それだけに最高の季節感が味わえます！
- ・ 通勤可能範囲（都心も可能）に働く場は・・・結構あります！

以上、第4段階まで数年以内にたどり着きたいと・・・妄想を膨らませています。

○ プロジェクトの具体案とアピールポイント

『農村ミュージアム化とフットパスコースの設置』（協議会ホームページ掲載）

- ・ 地域の潜在能力の最大活用（農業者・高齢者・女性による招き入れるための日常活動）
- ・ 地域資源の掘り起こしと活用（純農村で癒し、里山体験、旧街道、味わえるコシヒカリ）
- ・ かつての夢のあと、広大なリゾート開発地域の再活用にチャレンジします

地域の活性化サイクルを創り出す！

－ フットパスと農村ミュージアム化 －

人口減少と少子化などが進み地域の活力が次第に失われていく状況にあって
自から立ち上がることによって“持続可能な地域社会を創る”取り組みを進めるプロジェクトです。

担い手がない、子供が戻らない、人口が減っていく・・・でもどうして良いか分からない ⇨ 成り行き任せ・・・

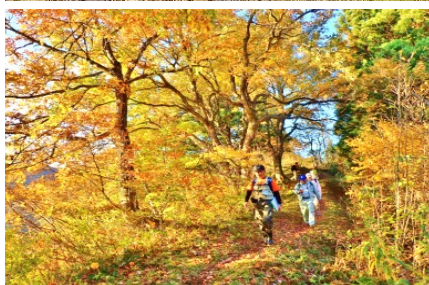
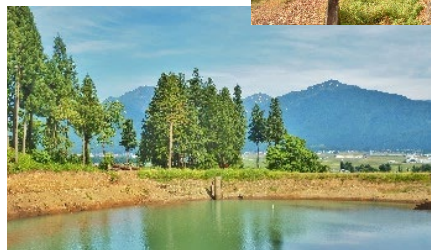
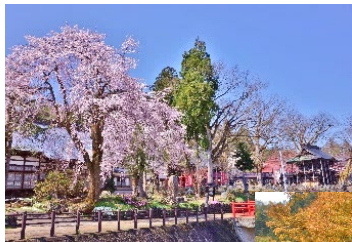


魚沼のどこにでもある“地域の宝”を知ってもらうことから始まる『地域活性化サイクル』への取り組み



浦佐地域の景観と魅力について (コース上の景観と文化について)

○ コースで出会う景観



○ 伝統行事と生活の営み

